

入学を希望されるみなさんへ 「愛知学泉大学 管理栄養学科からのメッセージ」

管理栄養学科では、栄養学に強い関心を抱き、「疾病治療・重症化予防」・「疾病予防」・「食育と食環境を整える」などの分野で管理栄養士として社会に貢献したいという意欲を持った人を求めています。管理栄養士が活躍する職域を以下にあげます。どのような職域があるか、将来、どのような職域で働きたいかを明確にすることが 4 年間の大学生活を充実させる重要ポイントになります。

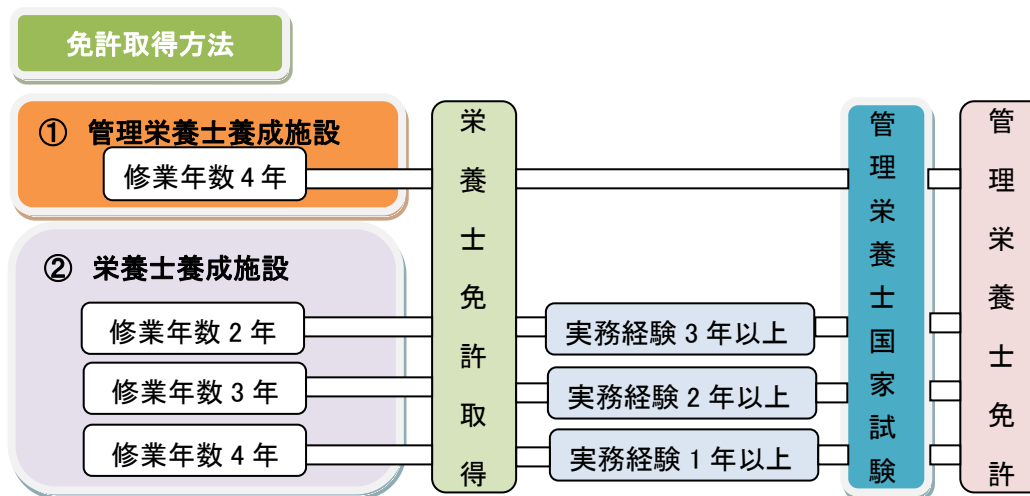
管理栄養士の使命は、

「食に関する実践活動を通して、人間の栄養状態の改善、健康の保持増進、生活習慣病の予防・改善に努める」ことです。人の健康をサポートする栄養のエキスパートとなる管理栄養士は、国家資格です。管理栄養学科では、4年間に決められた科目を修得し、国家試験の受験資格を得た後、国家試験に合格することで「管理栄養士」免許を取得することができます（下図参照）。

(図)

人の健康・生命に関わる医療職である管理栄養士を目指すため、授業では医療分野に特化した理系科目として解剖生理学、生化学、臨床医学を深く学びます。「料理・お菓子作りが好き、食べるのが好き」だけでなく、様々なことに興味を持ちましょう。

パンフレットやオープンキャンパスの様子なども参考にして志望理由書をお書きください。



管理栄養士を目指すあなたへ。毎日勉強する習慣と「化学、生物、国語、数学」の力をつけておきましょう！

管理栄養士が活躍する職域

病院(医療施設)

仕事内容：入院、外来患者の栄養管理・栄養相談、病院食のフードサービスマネジメント、治療食の調理・指導、栄養アセスメント（栄養評価）、在宅での治療患者の栄養指導、調査・研究。



病院の管理栄養士は、病気の治療、再発防止、合併症予防をめざし、患者さんの食事や栄養の管理、栄養指導を行います。生活習慣病や介護高齢者の増加など、病弱者の栄養や食事などの管理を必要とする人へ、医療における栄養の専門家として、高度な知識や技術が求められる職域です。また、「疾病者に対する療養のため必要な栄養の指導」を行うことが重要な業務となります。患者さんへの栄養アセスメント(栄養評価)やプランニング(栄養改善のための計画)、モニタリング(計画どおりに栄養改善を実施しているかの観察)と、患者さんそれぞれに合った栄養管理・食事管理が要求され、臨床分野で医師や他医療職の一員(チーム医療)として、その結果が求められる職域です。

福祉(高齢者・心身障がい・乳幼児保育所等施設)

仕事内容：利用者の個別栄養管理、栄養指導、食教育、給食管理、食形態の開発、摂食障がい者への摂食訓練、調査・研究。



老人福祉施設の管理栄養士は、高齢者の栄養状態の把握、栄養アセスメント(栄養評価)、栄養療法計画という一連の栄養管理サービスを行い、医師を中心とした医療スタッフとの症例検討会に参加できる資質を持つことが要求され、より専門性が必要です。特に、個人差の大きい障がい者においても、同様な栄養療法も行います。また、児童施設の管理栄養士は、児童の栄養状態の改善および心の健康と食という観点から、食教育(食育)の知識も必要となる職域です。

学校健康教育(小・中学校(栄養教諭)、教育委員会)

仕事内容：学校給食管理、栄養管理、給食の指導、食教育、衛生管理、家庭・地域との連携、調査・統計。



学校の管理栄養士は、幼稚園・小中学校(特殊教育諸学校を含む)および夜間定時制高校に勤務し、給食管理、食教育(食育)を行います。その他、国・都道府県・市町村教育委員会に勤務して、各学校へ指導を行います。学校給食を通して、正しい食事の摂り方の指導、教科や特別活動における指導、さらに食生活の改善や食物アレルギーへの個別的な指導など、食に関するカウンセラーとしての役割、また、学校・地域・家庭を含めた連携・調整を行います。

管理栄養士が活躍する職域

2025 年度入試

行政（保健所、市町村保健センター）

仕事内容：健康・栄養調査、給食施設指導、健康展、健康情報と提供、食生活改善グループの育成、地域住民の栄養相談・指導。



行政の管理栄養士は、地域の実情に合わせた都道府県計画や市町村計画の策定と、その実現に向けた行動計画に沿って、健康教育・栄養相談、食環境整備などの公衆栄養活動を行います。また、「食事バランスガイド」や「エクササイズガイド2013」を活用して、地域住民が健康づくりをもっと身近で手軽なものに考えてもらえるよう普及啓発をします。地域の健康づくり実現に向け、地域住民や関係機関・団体とのコミュニケーションを重視し、一人ひとりが「食を通して自分の健康を考える」というサポートを、幅広い視点から行います。

集団健康管理（事業所、寮、スポーツ施設）

仕事内容：給食業務、中高年労働者の健康管理、生活習慣予防の食事指導、人事・経営等のマネジメント。



事業所、寮などの管理栄養士は産業給食施設や企業の健康管理部門などで給食管理、栄養管理、栄養指導を通して、働く人の健康管理をサポートします。また、学生食堂や学生寮、スポーツ施設、フィットネスクラブなどに勤務し、栄養指導、給食の運営、経営管理を行います。

研究・教育（食品開発・研究機関、大学）

仕事内容：研究機関、大学、企業の研究室で調査、実験、品質管理、商品開発。



食品会社の管理栄養士は、新しい製品を企画・開発、品質の管理、食品の安全を守る業務をします。

また、管理栄養士養成施設における管理栄養士は、教員として基礎栄養学、臨床栄養学、公衆栄養学、栄養教育、給食経営管理、調理学等の教育、および調理師、介護福祉士、看護師等の養成機関で栄養学、食品学について教育をします。この分野の管理栄養士・栄養士は、健康づくりに貢献する栄養学の実践活動につながりを持った研究と、21 世紀の保健・医療・福祉の分野で栄養と食生活の専門職を育てることを目標とした教育研究活動を行います。

参考：（管理栄養士への理解を深めるための参考図書：「管理栄養士コースで学ぶ～キャリアデザインのために～」編著 奥田豊子ら 同文書院 1800円）